

平成 29 年度 第 1 回 直方市高齢者保健福祉協議会 議事録

日 時：平成 29 年 6 月 16 日（金）13 時 30 分～14 時 40 分

会 場：直方市役所 5 階 503・504 会議室

出席者：鬼崎会長、菅原副会長、河野副会長、阿部委員、丸本委員、中村委員、
倉富委員、財部委員、田中委員

欠席者：面河委員、青見委員

傍聴席：1 名

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 委員紹介
5. 事務局紹介
6. 会長・副会長選出（鬼崎会長、菅原副会長、河野副会長）
7. 会長あいさつ
8. 議題
 - 1) 第 7 期直方市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定方針について
 - 2) 策定スケジュールについて
 - 3) 高齢者の現状報告
 - ① 第 6 期計画介護保険給付費・地域支援事業費の状況について
 - ② 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査集計結果について
 - ③ 在宅介護実態調査集計結果について
9. その他

【配布資料】

- | | |
|----------------|------------------------------------|
| 配布資料 No. 1 | 第 7 期直方市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定方針について |
| 配布資料 No. 2 | 策定スケジュールについて |
| 配布資料 No. 3-1 | 第 6 期計画介護保険給付費・地域支援事業費の状況報告 |
| 配布資料 No. 3-2-1 | 直方市 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査集計結果 |
| 配布資料 No. 3-2-2 | 直方市在宅介護実態調査集計結果 |

～ 議 事 ～

○会長

それでは、ご指名を賜りましたので、会長を務めさせていただきます。第 7 期の介護保険事業計画ということで、より良い計画となるように、皆さまのご意見を賜りながら進めていきたいと思ひます。

本日は 3 つの議事を用意しています。予め質問があれば出してくださいということをお願いしておりましたが、今回、事前質問はなかつたので、まず、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定方針について、事務局の方からご説明をお願いしたいと思ひます。それから、ご意見等を賜りたいと思ひます。

1) 第 7 期直方市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定方針について

●事務局

資料 No. 1 に沿って第 7 期計画の策定方針について説明

○会長

ありがとうございました。第 6 期計画の現状分析、人口の将来推計、介護サービスの利用推計、アンケート調査等のデータに基づいて策定するということでした。3 ヶ年計画であること、また 2025 年を見据えた地域包括ケアシステムの組み立てなども視野に入れながら計画を策定するという説明でございましたが、何かご質問、ご意見がありましたらお願いしたいと思ひます。第 6 期計画策定時は、3 ヶ年計画だけでありましたが、次は 2025 年問題も視野に入れて考えていくということもあるため、その部分の難しさもあると思ひます。何かお尋ね、ご意見がありましたら遠慮なく出して頂ければと思ひます。

○委員

確認ですが、2 頁の直方市人口ビジョン及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の第 3 章<② 健幸推進都市の創造>にある、“幸”の字は間違いはないのか。

●事務局

この“幸”で間違いありません。

○会長

あえて、幸いという漢字にしているそうです。高齢者人口の割合も実数も増えており、今の仕組みでは、介護サービスの利用をされる方が多くなるということは、保険料の算定にも関係してくる部分もありますので、そういった問題もご議論して頂けたらと思ひます。その他に質問がなければ、全体を通して最後に出して頂いても宜しいかと思ひます。

2) 策定スケジュールについて

●事務局

資料 No. 2 に沿って策定スケジュールについて説明

○会長

ありがとうございました。策定スケジュールという事で、それぞれの回ごとの検討項目についてご説明を頂きました。本日を入れて計 6 回の策定検討委員会を開催するという予定です。特に、来年になり計画素案が出来ましたら、市民の方々に公表しまして、色んなご意見を賜りながら成案につなげていきたいと考えているわけです。また、何かご質問があれば最後に出して頂ければと思います。

3) 高齢者の現状報告

① 第 6 期計画介護保険給付費・地域支援事業費の状況について

●事務局

資料 No. 3-1 に沿って第 6 期計画介護保険給付費・地域支援事業費の状況について説明

○会長

ありがとうございました。介護予防・日常生活支援総合事業の開始が途中で入ってきたため、数字が動いていることもあろうかと思えます。実績値としてはご説明を頂いたところでありますけれども、介護予防・日常生活支援総合事業が入ってきたので、支払手数料等は平成 28 年度から上がってきています。取組がなされていますので、そういう資質があったということです。何かお尋ね、ご質問がありましたらお願いします。

○委員

増えた分については説明がありましたが、減った分というのは在宅医療の方に移行したのか、もしくは実行できていないのか。計画値に対して実績値が 60%という低い数字が、第 7 期には元に戻るのかということをお尋ねします。

●事務局

実績値が計画値よりも低くなった部分は、7 頁の表で言いますと、下から 5 段目の在宅医療・介護連携推進事業が 6.35%とかなり低い数字になっていますが、直方・鞍手医師会様の方で、29 年度まで県より在宅医療介護の補助金を頂いています。実際の費用に関しては、医師会様の方で 29 年度まで一部負担をして頂いているという状況なので、それ以外について支出があったということです。30 年度からは市町村が主体となって取り組むことになるので、7 期計画からは実質の金額になってくるというかたちになります。

○委員

実際、パーセンテージを超した分はたくさんあって、その理由でマイナスになっているということだが、トータルすると100%に近くなっている。今言われたように、医師会の分がなくなれば、全体が底上げされるということですよ。

●事務局

補足いたします。今回、お示ししました7頁の中で、取り分け100%を超えておりますのが、介護予防ケアマネジメント事業費、審査支払手数料となっています。1頁を参照していただきたいのですが、表の11段目の介護予防サービス計画費については、28年度は84.65%、数値的にいうと560万円ほど計画よりも実績が低くなっています。これは元々、介護予防サービス計画費の方に介護予防ケアマネジメント事業費が含まれていました。本市では28年度4月から総合事業へ移行する予定でしたが、前倒しで移行したため、7頁の方の全体としては100%を大きく超えていることとなります。7頁だけで見ますと、全体は100%近くになっていますが、介護予防ケアマネジメント事業費290%という内容が、元々1頁にあった事業から移行された経緯があることをご説明させていただきます。

○会長

当初の予定よりも早く取組を始めて、数字が動いているということですね。

② 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査集計結果について

●事務局

資料No. 3-2-1に沿ってニーズ調査集計結果について説明

○会長

高齢者4,000名を対象とした調査を行い、集計結果を棒グラフで整理をしたかたちで結果を示されています。詳細は次回ご説明を申し上げるという事です。何かご質問、ご意見があれば出して下さい。

○委員

対象者4,000人は、市の65歳以上人口の中でどのくらいの割合になるのか示した方がいいのではないのでしょうか。

●事務局

おおよそ、18,000人ということになっています。具体的な数字は、次回にお示ししたいと思っています。

●事務局

分かる範囲ですが5月末の65歳以上人口は、I地区で3,821人、II地区で7,134

人、Ⅲ地区で3,818人、Ⅳ地区が3,457人となっており、合計しますと18,230人になります。18,230人に対する4,000件の配布は21.9%となります。同様に、Ⅰ地区の配布件数は21.8%、Ⅱ地区は22.6%、Ⅲ地区は20.2%、Ⅳ地区は21.2%になります。

○会長

約20%の配布数ということですね。基準の月が違いますので、次回にでもお示し頂きたいと思います。

③ 在宅介護実態調査集計結果について

●事務局

資料 No. 3-2-2 に沿って在宅介護実態調査集計結果について説明

○会長

ありがとうございました。在宅介護実態調査集計結果の概要を説明して頂きました。942名に配布して、470名の方からご回答を頂き、49.89%の回収率であったというご説明でした。この調査の詳細は次回以降に出して頂けると思いますが、結果から特徴的なことがあれば、補足の説明をして頂きたいと思います。

●事務局

4頁の主な介助者の方が行っている介護についてですが、介護保険サービス以外のところでは、外出援助は65.4%と多くのご家族が行っておられます。家事や金銭的な部分もご家族が管理されています。また、介護のための離職についてですが、全国的には離職が多い傾向にあると思われれます。都市圏であれば、辞める可能性が高いと思われれますが、本市においては、喜ばしいことに介護が原因で仕事を辞めたという家族・親族はいないという方が78.1%となっています。そのため、国が示すような離職に至っていることは少ないと感じております。

○会長

他に何かありますか。

○委員

12頁のサービス利用についてですが、1年間を通した利用回数になるのでしょうか。

●事務局

現在のサービス利用ということで質問させて頂いておりますので、特に1年間に区切ったものではありません。

○委員

0回、1～4回と回答されている方が多く、利用されていないようにみえます。

●事務局

利用率としては、456人の合計のうちの43%ぐらいとなりますので、実際に利用されている分とは数値が変わってくると思います。

○委員

訪問系サービスの利用回数0回の方が61.0%と、ほとんどの方が利用していないということになりますよね。特に短期系サービスにおいては、その存在を知らないのか、利用者が非常に少ない。

○会長

委員2の質問は、利用が少ないのではないかとということです。

○委員

1ヶ月なのか、1年なのか、今までなのかによって、0～1回の重みも変わってくると思いますが。

●事務局

認定更新をした時に調査をした方について「このようなサービスを利用していますか」という聞き方をしていますので、「利用していません」という回答が得られています。これは単純集計なので、回答した456名のうちの0回と記入された方が31%であって、実際の通所系や訪問系などの介護保険サービスを使ったこととはイコールにはならないと思います。

○委員

実際にサービスを利用していることがベストだと思う。その場合に、ショートステイであれば96.1%が利用していないということになると、あまり必要ないと見込まれ、後々の予算や費用にダイレクトにきますので、基準をきちんとしないといけないのでは、という心配です。

●事務局

サービス種類ごとの利用率というのは、次回、それぞれの給付費がいくらかというかたちでお示ししたいと思っています。あくまでも、アンケートの回答者の集計になっておりますので、実際に直方市でサービスがどのように使われているのかは、次回、資料でお示ししたいと思っています。

○会長

居宅サービスの種類ごとにどれだけの利用実績や利用時間数、金額も含めて、実際の利用実態をわかりやすく資料等を出して頂ければと思います。

○委員

あくまでも、アンケート結果であるということだが、どのように把握し、理解して良いのかわからない。単純に1ヶ月に利用した回数ではないということですよね。

●事務局

更新をされた方のみになります。その時の利用回数という可能性もあります。

○委員

利用された方が、サービスの利用をどのように把握しているかということになるんですよ。

○委員

たまたま更新したからという可能性もありますね。

●事務局

その可能性もあります。ここでは単純な集計になりますので、クロス集計していけば数字が変わってくると思います。

○会長

最終的に取りまとめていく際に、説明内容を記述して頂くと設定要件が明確になると思います。次回はデータ等に基づいて議論して頂くことになると思います。次回の開催日時を事務局からご連絡をお願いします。

●事務局

次回は7月14日(金)13時30分から、8階の大会議室で開催致しますので、宜しくお願いいたします。

○会長

できるだけ1時間半で終わるように努めていきたいとは思いますが、2時間程度はお時間を取っていただけるような段取りでお願い致します。

－ 議事終了 －

(1:07:10)